



千住まちトーク：千住メディアの未来

～町雑誌千住 × センジュ出版～

千住地域におけるメディアのあり方を考えるシリーズ「千住メディアの未来」の第一弾として、「町雑誌千住」と「センジュ出版」から2名の女性運営者を迎えてのトークセッションです。

「町雑誌千住」はこれまでタウン誌として千住で存在感を持ち続けながらも今年のラスト号を最後に廃刊しました。一方、「センジュ出版」は新しく千住で立ち上がったばかりの出版社です。運営者が女性であることが共通点です。それぞれのプレゼンの後、クロストークを通して、世代や価値観、社会や千住のまちの変化などへのスタンスや、表現の微妙な違いなどを浮き彫りにしつつ、紙媒体やメディアのあり方だけでなく、千住のまちの未来像を見通すことをも目指します。

日 時：2015年9月27日（日）15:00～17:30（終了後、懇親会を予定）
場 所：日の出町団地スタジオ
（足立区日ノ出町27 日の出町団地1号棟103／北千住駅東口（電大口）徒歩5分）
内 容：タウン誌「町雑誌千住」の19年：舟橋左斗子（編集者）
「センジュ出版」誕生の経緯と未来：吉満明子（代表）
クロストーク：舟橋左斗子 × 吉満明子 × 佐々木誠（千住いえまち）
参加費：無料（定員30名・先着順／下記にてご登録ください）
（当日でも空席があればご参加いただけます）
登 録：HP 1010iemachi.jp/event/（申込みフォーム）
電話 03-3881-8816（留守番電話：折返しお返事いたします）
連絡先：090-5560-8927（当日：佐々木の携帯電話）

■町雑誌千住 (<http://1010iemachi.jp/book/>)



1996年に大野順子と舟橋左斗子の二人の女性によって発刊された千住のタウン誌「町雑誌千住」は、会員や読者に支えられ、広告に頼らず、スタッフの献身的な努力で千住の魅力を発信してきましたが、2年前に大野順子が他界したことを期に、ラスト号（21号）をもって廃刊することになりました。

■センジュ出版 (<http://senju-pub.com/>)



都内出版社で編集長、取締役を経験した代表・吉満明子が、自身の出産を機に2015年9月1日に立ち上げた「静けさとユーモア」がモットーの一人出版社。いえまちと同じく玉井荘2階をリノベーションした事務所は畳部屋もある12畳。千住の個店力に魅せられた代表が、まちづくりやイベントへ積極的に関わりながら、読者にたしかに届ける本作りを視野に、現在刊行書籍の編集集中。



本企画は、2015年9～11月に千住地区で開催される地域横断連携イベント「千住酒合戦200」に参加しています。200年前一流の文化人たちが千住に集まり交流（合戦）した酒宴を「メディアのクロス」になぞらえています。



主催：千住いえまちプロジェクト
本事業は「公益信託あだちまちづくりトラスト」の助成を受けています